

県高校総体代替大会は25日、県内各地で9競技を行った。空手組手団体は男女とも高松中央のみの出場で、同校の男子4チーム、女子2チームがしのぎを削った。ソフトボール男子は多度津が栄冠をつかみ、同女子は丸亀城西と高松南が決勝に進出した。サッカー男子決勝は四学香川西―尽誠学園に決定。ハンドボールも決勝カードが決まり、男子は香川中央―高松工芸、女子は高松商―香川中央と

'20 県高校総体 代替大会

なった。陸上は女子の横山那々(英明3年)が前日の100㍎に続き、200㍎も25秒10で制して2冠を達成、男子やり投げは小塚陽介(丸亀城西3年)が62㍎11で頂点に立った。競泳は前日に続き県夏季記録会(県水泳協会主催)があり、男子100㍎平泳ぎ高校生の部は高松西3年の増田開(坂出伊藤S)が優勝した。バスケットボールは男女とも4組制の戦いが幕を閉じた。